

<記号の見方> ○...加工できます! △...仕上がり相談 ×...加工できません

		レーザーカッター		UVプリンター	備考
		カット	彫刻		
木材	スギ・ヒノキなど	○	○	○	カットは最大10mm厚
竹		○	○	○	
コルク		△	○	○	燃えやすいので、カットすると縁が焦げ焦げになりやすい
革	オイルレザー	○	○	×	
	床革・スエード	○	○	△	白をプリントする場合、少し荒くなります。
合皮	ポリウレタン (PU)	○	○	×	エタノール不可
	塩ビ (PVC)	×	×	○	
プラスチック	ポリカーボネート (PC)	△	△	○	溶けやすいため、文字彫刻などは不向き
	スチロール樹脂・ポリスチレン (PS)	△	△	○	
	ABS樹脂	△	△	○	
	AS樹脂	△	△	○	
	アクリル	○	○	○	
	PET	○	△	○	レーザー加工は可能ですが、色によっては目立ちにくい
	塩ビ	×	×	○	
	ポリプロピレン (PP)	△	△	×	溶けやすいため、文字彫刻などは不向き
	EVA	○	○	×	10mm厚まではカット可能
	FRP	?	?	○	
	クラリティ	△	△	△	溶けやすいため、文字彫刻などは不向き、エタノール不可
ゴム	シリコン・シリコン塗装	×	△	×	彫刻はできますが、線が残ったような仕上がりです。
	ラテックス	×	×	×	ヤニが出やすく、機材へダメージの恐れがあるためお断りしています。レーザー専用のゴムをオススメしています。
	天然ゴム	×	×	×	
陶器		×	△	○	彫刻する場合、表面の釉薬を剥がすのであまり目立ちません。
漆			△	○	
紙		○	○	○	色材によって、カットしたときにヤニが出る場合があります。
ガラス	耐熱ガラス	×	○	○	彫刻の場合、強化ガラス・ソーダガラスは、白い粒子の見える仕上がりになり、耐熱ガラスは比較的透明な仕上がりです。
	ソーダガラス・強化ガラス	×	○	○	
布	フェルト (アクリル100%)	○	○	△	布地へのUVプリントは洗濯耐性がないことや、白をプリントする場合割れやすいので基本的にはお断りしています。
	フェルト(ウール混)	○	○	△	
	デニム	○	○	△	ウール混のフェルトは、レーザー加工をすると焦げが出ます。アクリル100パーセントの場合は出ません。
	ポリエステル	○	△	△	
金属 ※完全に鏡面 のものは加工不可 ヘアラインの入 っているツヤ消 しのものが対象	ステンレス	×	△ (塗装アリ)	○	加工できる焦点距離がシビアなので、円形の場合は加工面積が通常より狭くなります。(1cm幅程度)
	アルミニウム	×	○ (塗装アリ)	○	アルマイト塗装商品へのレーザーカッターはきれいに仕上がります。
	チタン	×	△ (色むらアリ)	○	加熱するとプリントが取れてしまうので、直火にかけるものはオススメしません。レーザーカッターでは色むらが生じます。
	真鍮 (黄銅)	×	×	○	
	スチールカーボン	×	△ (塗装アリ)	○	彫刻は可能ですが、くっきりとした仕上がりになりません
	ブリキ	×	×	○	
	ニッケル	×	×	○	
塗装	アクリル塗装		○	○	ボールペン・名刺ケースなど
	ラッカー塗装		○	○	万年筆など
	ホーロー	×	△	○	加工は綺麗にできますが、さび止めのための塗装なので、保存ボックスなどを加工すると水気ですぐ錆びてしまいます。

※UVプリントしたものの加熱は不可です。

※金属はレーザー彫刻できませんが、表面の塗装を剥いたり熱で色を変化させることができます。

※形状や加工する場所によっては加工をお断りする場合があります。

※UVプリンターのお色は通常のプリンターと同じCMYKと白インクです。金・銀などの特色は出ません。